



評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE（建築）2016年版、名古屋市長官公署建築環境総合評価システムマニュアル2016 | 使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)昭和区石仏町一丁目計画	階数	地上10F
建設地	名古屋市昭和区石仏町一丁目16番,16番4,16番5,16番6,16番7,16番8,16番9,16番10	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域、緑化地域	平均居住人員	108 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2022年3月1日
敷地面積	1,028 m ²	作成者	
建築面積	368 m ²	確認日	2022年3月9日
延床面積	2,664 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
= BEE1.2 ★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C:★	☆:☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆☆ 60%:☆☆☆☆☆ 30%:☆☆☆☆☆ 標準計算	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

環境要素	スコア
音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.0
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

性能要素	スコア
機能性	3.6
耐用性	2.9
対応性	3.4

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア= 2.8

環境要素	スコア
生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

エネルギー要素	スコア
建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.5
効率的	3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

資源要素	スコア
水資源	3.4
非再生材料の使用削減	2.9
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.1

環境要素	スコア
地球温暖化	3.7
地域環境	2.5
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 隣地建物や隣接住戸とのフラッシュに配慮し、快適な住空間を実現した。		その他 特になし
Q1 室内環境 基本の居室天井高を2.55mと設定し、ゆとりある室内空間となるよう配慮した。	Q2 サービス性能 点検口を適切に設けるなど、メンテナンス性に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 積極的に緑化を行うことで、近隣・街並みにも配慮を行った。
LR1 エネルギー 高効率設備(給湯器)を採用した。	LR2 資源・マテリアル 住戸便器に省水型衛生器具を採用した。	LR3 敷地外環境 駐車場を全て平置きで住戸数の70%確保すると共に、自転車置き場を住戸数の200%確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)昭和区石仏町一丁目計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2
■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.4
LR1	エネルギー	3.6	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.7	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				2.2
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	有	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				3.0
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 3.4
	
2. 自然共生	評価点 = 2.2
	
3. 循環型社会	評価点 = 3.0
	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。